

平成 30 年 6 月 27 日付【日本下水道新聞】
＜第 37 回定時総会 公益移行で活動深化＞
新会長に村上 NJS 社長

協 水
新会長に村上 NJS 社長
第 37 回
定時総会
公益移行で活動深化

全国上下水道コンサル
タント協会は14日、都内
で第37回定時社員総会を
開き、公益社団法人への
移行、平成30年度事業計
画などを報告した。新会
長に村上雅亮 NJS 社長
が就任。前会長の野村喜
一日水コン社長は副会長
となった。

水コン協は4月1日、
一般社団法人から公益社
団法人に移した。今後
は協会活動を深化させ、
調査研究、事業体への要
望・提案活動、人材育成
などに取り組む。

今年度は中期行動計画
の第一期が終わるため、
中間評価を行い見直しを
図るほか、会員企業・所
属社員などの実態調査結
果を踏まえた協会施策の
方向性を検討する。また、
ノーマン残業デーの協会統一
キャンペーンの継続実
施、積算関係資料の提案、
災害時支援者育成講習会
の開催等に取り組む。



村上新会長

村上新会長は「これま
で当協会を牽引していた
だいた野村前会長の成果
は大きい。そのパッショ
ン、ポリシーを受け継ぐ」
と感謝を述べ、取組み課
題として▽要望・提案活
動の内容充実▽情報発信
の強化▽協会活動の活性
化―の三つを挙げた。

要望・提案活動では、
下水道施設改築への国庫
補助継続などに向けて関
係者と連携して活動する
との考えを示した。

情報発信は学生や一般
市民も対象に入れて幅広
く展開する。上下水道の
重要性、コンサルの役割
や魅力発信を強化する。

協会活動の活性化に向
けては「水コン協は中期
行動計画の見直し時期に
あり、上下水道は転換期
を迎えている。変化の中
でコンサルの方向性、役
割、協会のあり方を議論
したい」「コンサルの業
務領域の拡大に取り組み
つつ、コンサルタント各
々が生きがい、やりがい
をもって仕事ができる、
成長ができる環境の整備
に尽力する」と語った。